西宮市会報告

NO.115
2020年 冬号

発行●日本共産党西宮市会議員団
西宮市六湛寺町10番3号（西宮市議会内）
Eメール：nmc30547@nishi.or.jp
TEL：0798-35-3368　FAX：0798-22-7815
ホームページ：http://nishinomiya.jcp-giin.net/

12月議会

日本共産党

今年もよろしくお願いします

昨年は統一地方選と参院選挙がたたかわれました。ご支援ご協力に感謝申し上げます。

さて10月からの消費税増税強行に加え、「しんぶん赤旗日曜版」のスクープで火が着いた「桜を見る会」疑惑の数々に国民の怒りが沸騰しています。

昨年末、日本共産党と立憲民主党は疑惑の徹底追及と、「安倍政権を倒し政権を代え立憲主義を取り戻す」ことを合意しています。

2020年を日本の政治の新しい時代を切り拓く年に！
日本共産党西宮市会議員団も全力を尽します。

12月市議会では

昨年12月議会で全会一致採択された「公立小中学校体育館へのエアコン設置を求める請願」が実を結び、新年度に全中学校体育館にエアコンが整備されることになりました。

一方、9月議会で「継続審査」となっていた公民館など、公共施設使用料値上げ条例案は、日本共産党のみの反対で成立しました。

市民から提出され、日本共産党議員団が紹介議員となった、指定難病医療費助成制度で重症度による選別をやめ、「軽症」患者へも助成を求める請願と、西宮市に気候非常事態宣言を求める請願はいずれも不採択。

日本共産党議員団提案の「加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度の創設を求める意見書」は全会一致採択されました。

2020年 今年の抱負

野口あけみ

副議長職に就いて半年。新たな出会いにワクワク、あらゆる議会情報の集中にドタバタしながらの毎日でした。

あと半年、議員団長との併任ですが、日本共産党の副議長でよかったと言ってもらえるよう、ひきつづきがんばります。

●団長　●副議長
●総務常任委員
☎0798-34-7329

佐藤みち子

ジェンダー（社会的に作られた性差別）平等社会を実現するために、今年はこの分野の学習をしっかり取り組んでいきたい。性別に関係なく一人一人が個人として大切にされる社会を目指します。

●幹事長　●議会運営委員
●健康福祉常任委員
●都市計画審議会委員
☎0798-42-2856

ひぐち光冬

「気候非常事態宣言」を西宮市に出してもらうため頑張ります！気候変動を止めていく動きは、そのまま経済システムを変換していく運動に繋がっていくと思うので。あと私的には、もうちょっと休みたいです（笑）

●教育こども常任委員
●社会福祉審議会委員
☎090-7764-0743

まつお正秀

今年はNPT再検討会議の開催に加え、初めて海外で原水禁大会が開催されます。また、被爆75周年でもあり、被爆者の皆さんとともに核兵器禁止条約の発効に草の根から力を尽くしていきます。もちろん議会でも頑張ります。

●民生常任委員会副委員長
☎0798-73-0775

一般質問

日本共産党2議員が質問にたちました

12月議会

ひぐち光冬

ヘルプマークの周知を

ヘルプマークとは、見た目では障害があるとはわからない方が身に付け「困っていたら助けてください」という意思を示すマークです。しかしまだ知らない人も多いため、さらなる周知を求めました。結果として、これまでの公共交通機関での宣伝に加え、医療機関や学校でも周知してくれることとなりました。

教員間のハラスメントが起きない学校づくり

神戸で教員間のいじめがありましたが、西宮で同じことがあってはならないと思い取り上げました。市教委は「本市では神戸のような事案はない」と言い切り踏み込んだ調査をしようとしないので、「調査を行い実態を把握すること」などを求め、何よりも「教員の声を十分に汲み上げること」を要望しました。

不登校支援のあり方改善を

不登校支援は喫緊の課題ですが、本市の支援のあり方について、改善を求めました。具体的には「“学校復帰”を前提にするのをやめること」や「不登校支援教室を“適応指導教室”と呼ぶのをやめること」などを提案。改善されることとなりました。

佐藤みち子

名神湾岸連絡線の建設は中止せよ

佐藤みち子議員は、都市計画審議会でルートが明らかになった名神湾岸連絡線について質問。人口減少、少子高齢化、若者の車離れで今後は交通量が減少していくことや、地球温暖化対策で国土交通省が、大型トラックによる輸送をＪＲ貨物、船舶輸送等にシフトするよう推奨していることを示し、建設中止を国や県に求めよと当局を質しました。

当局は、乗用車は減少しているが、通信販売の拡大や外国人観光客の増加により、大型車や高速道路の交通量は増え、2030年以降も極端に減らないと強弁。また、連絡線が建設される予定の今津地域は、かつて健康被害が起きた地域であるにも関わらず、住民への健康被害調査を求める要望には、「調査する考えはない」との冷たい答弁でした。

体育館の雑魚寝ではなく段ボールベッドを使用せよ

次に、佐藤議員は本市の避難所が国の定めた「避難所ガイドライン」に沿って運営されるのか、また、地震時の避難所開設について自治会等の協力が必要ではないかと質問しました。当局は、ガイドラインに沿って段ボールベッドや非常食を備蓄している、と答弁。さらに、地域の方に避難所を開設してもらう必要があると認識しており、一部の地域ではこの取り組みを進めているが、さらに広げていきたいと答弁しました。

中学校体育館

エアコン設置へ

学校体育館へのエアコン設置は以前から求め続けていましたが、この度ついに実現することになりました。国からの補助金や工事業者の手配上、まずは中学校（全20校）のみですが、来年度設置されます。総事業費は約６億4600万円です。

小学校（全41校）については来年度以降検討することになりますが、現在の行政の態度をみる限りあまり積極的とは言えず、「中学校だけで勘弁して」という思いが透けてみえます。昨今、地球温暖化による異常気象が続く中、避難所としても使われる小学校体育館への設置をないがしろにさせるわけにはいきません。“中学校だけで終わり”とならないよう、引き続き求め続けていきます。

なぜ

「気候非常事態宣言」に反対?

請願不採択

12月議会には市民団体の皆さんから「西宮市に気候非常事態宣言を求める請願」が提出されましたが、賛成少数で不採択となりました。この請願は、昨今の異常気象などを踏まえ、産業革命前の水準から気温上昇を1.5℃以内に抑えないと大変なことになると、西宮市に同宣言をするよう議会に求めたものです。

日本共産党議員団と無所属議員は賛成の立場で奮闘しましたが、他の会派（政新会、公明党、会派ぜんしん、維新の会、市民クラブ改革）は、すでに環境学習都市宣言をしており、市民の理解も取り組みも遅れているので、まずそちらに取り組むべきなどとして反対。

温暖化対策は待ったなしです。国連で「家が火事と思って」と訴えたグレタ・トゥンベリさんの認識にみんなが立つべき時ではないでしょうか。